

SORD

SR-©100シリーズ

取扱説明書

本製品に同梱されているマニュアルを紹介します。

安心してお使いいただくために

- ・ 本製品を取扱いになるときに
守っていただきたいこと

※ご使用の前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

- ・ 電源を入れる前に
- ・ 接続と電源の入れ方、切り方
- ・ 無線機能について
- ・ AC アダプターについて
- ・ BIOS の初期化
- ・ 困ったときのQ & A

その他の説明、ご案内など

マニュアルについて	3
目次	4
はじめに	6

1 電源を入れる前に 12

1. 梱包箱の中身の確認	12
2. 各部の名称と機能	12
3. 設置環境について	15
(1) 本製品の仕様について	15
(2) 本体の置き場所	15
(3) 設置場所の照明	15
(4) 使用時の姿勢	15
(5) 健康のために気をつけたいこと	15
4. 日常の取扱い・お手入れ	17
(1) 本製品の取扱い	17
(2) 日常のお手入れ	17
(3) 有寿命部品	17
(4) 修理・保守サービスについて	17
5. 廃棄・譲渡について	18
(1) 本製品の廃棄について	18
(2) 本製品の廃棄・譲渡時の SSD 上のデータ消去に関するご注意	18
6. 技術基準適合について	19
(1) 電波障害自主規制について	19
(2) 瞬時電圧低下対策について	19
(3) 高調波対策について	19
(4) 無線機器に関する認証について	19

2 接続と電源の入れ方、切り方 20

- 1. VESA ブラケットの取り付け 20
- 2. 接続について 23
- 3. 電源の入れ方と切り方 24
 - (1) 電源の入れ方 24
 - (2) 電源の切り方 24
 - (3) 電源、ケーブルを外す順番 25

3 無線機能について 26

- 1. 無線 LAN について 26
 - (1) 無線 LAN の接続方法 26
 - (2) 無線 LAN のセキュリティに関するご注意 27
 - (3) 無線 LAN の仕様 27
- 2. Bluetooth について 28
 - (1) Bluetooth の接続（ペアリング）方法 29
 - (2) Bluetooth の接続の切断（ペアリング解除）方法 29
 - (3) 電波干渉について 29

4 AC アダプターについて 30

- 1. AC アダプターの取扱注意点 30

5 BIOS の初期化 32

- 1. 内蔵電池 32
- 2. BIOS の初期化（購入時の状態に戻す） 32

6 困ったときの Q&A 33**7 お問い合わせ窓口について 38**

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は本製品の基本的な取扱い方を説明しています。

本製品はご購入のモデルにより、OS が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

● 記載について

- ・ 本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

● Trademarks

- ・ Intel、インテルは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・ Bluetooth ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。株式会社ソードは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

取扱説明書に掲載の商品 / 規格の名称やロゴは、それぞれ各社 / 団体が商標および登録商標として使用している場合があります。

● 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけてください。

●使い終わったとき

本製品を使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリーに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。スリープ機能は、次に電源ボタンを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。

また、作業中の状態をストレージに保存して一時的に中断する方法もあります。この機能を、「休止状態」と呼びます。休止状態は、次に電源ボタンを押したときに中断したときの状態を再現することができます。

なお長時間使用しないときや、本取扱説明書 / 付属説明書で電源を切る手順が記載されている場合は、スリープ / 休止状態ではなく、必ず電源を切ってください。





※ OS の設定によりスリープ機能、休止状態は使用出来ない場合があります。

●お願い

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・本書に記載できなかった各モデルの詳細は『お使いいただくにあたって』に記載されておりますので、必ずご覧ください。
- ・ストレージ、USB メモリーに記憶された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・購入時に定められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取扱いにはご注意願います。
- ・本書の内容は 2026 年 6 月現在のものです。
お問い合わせ先や URL などに変更されている場合は「株式会社ソード 各営業担当」へお問い合わせください。

●本書の読み方

・記号の意味

 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊ 1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊ 1）を負うことが想定されること”を示します。 ＊ 1：重傷とは失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊ 3）の発生が想定されること”を示します。 ＊ 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ・やけど・感電などをさします。 ＊ 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
	この説明書の参照先は「 」で示し、他の説明書の参照先は『 』で示しています。
(注)	補足説明をしています。

・入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを【 】で囲んで表記しています。

例：【Enter】キーを押す。【Ctrl】キーを押す。【スペース】キーを押す。

- ・本書では、本製品で使用する製品の名称を次の通りに表記します。
ストレージ：SSD など

●ご使用上の注意

(1) プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- ・周辺機器を接続して本製品を使用している場合
- ・複雑な処理に使用するソフトウェア (例えば、運用に高性能コンピューターが必要とされるように設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外付けのストレージへ保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

(2) 妨害電波 / 電圧について

本製品は VCCI クラス B 機器です。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- ・テレビ、ラジオに対する本製品の方向を変える。
- ・テレビ、ラジオから離す。
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- ・受信機に屋外アンテナを使う。
- ・平衡フィーダーを同軸ケーブルに替える。
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルターを入れてみる。

以上のような対策を行ってみてもまったく効果がない場合は、「保守サービス窓口」へご相談ください。

VCCI マークのついていないオプションと接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

（３）サウンド出力端子

本体正面サウンド出力端子（LINE OUT）の出力は、ラインレベル出力となります。

スピーカー、ヘッドホン、イヤホン等を接続する場合はアンプ経由、もしくはアンプ内蔵の機器を使用してください。

本製品の LINE OUT/MIC IN 端子は 4 極プラグ対応です。3 極プラグのマイクやヘッドセットは使用できません。

注意

- ・ヘッドホン、イヤホン等を装着した状態でプラグの抜き差し、本製品の電源オン・オフの操作をしないでください。
- 聴力に悪影響を与えるおそれがあります。

（４）CPU 切替器

本製品に CPU 切替器を接続して使用すると本体が正常に動作しない場合があります。CPU 切替器は使用しないでください。

（５）交流無停電電源装置（UPS）

本製品に UPS を接続する場合は常時正弦波出力タイプの UPS を必ず使用してください。

正弦波出力以外の UPS を使用された場合、正常に動作しないことがあります。

また、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

警告

分解・改造・修理をしないでください。

火災・感電・故障・ケガのおそれがあります。

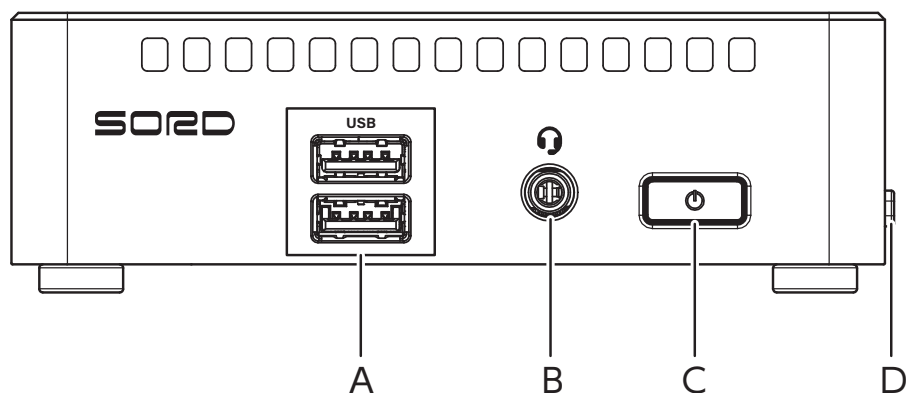
点検・修理は、お買い求めの販売店または「保守サービス窓口」（同梱の『保守サービスのご案内』を参照）に依頼してください。

1. 梱包箱の中身の確認

添付の『送品明細書』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。

2. 各部の名称と機能

<正面>



A. USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ

B. LINE OUT/MIC IN 端子

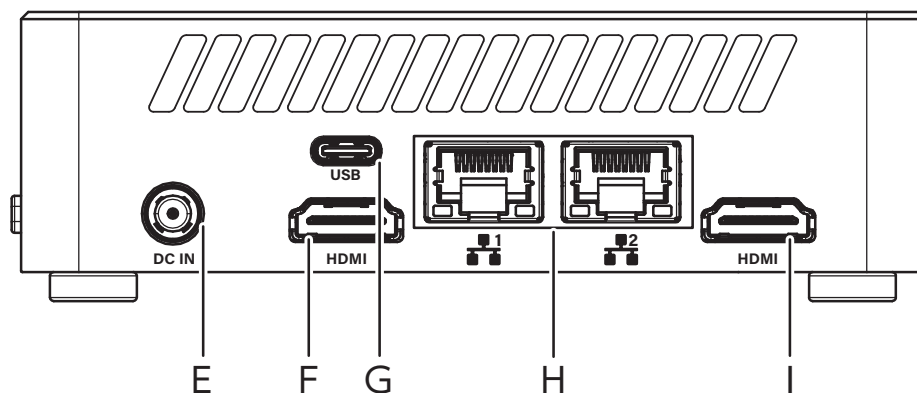
C. 電源ボタン / 電源ランプ

本製品の電源を入れるときに押します。また、本製品を省電力モードから復帰するときに使用します。（動作中に押し続けると、強制的に電源が切れますので、押し続けしないでください。）本製品の電源が入っているとき電源マークが白色に点灯、スリープ状態のときは点滅します。

D. セキュリティロックホール

使用時はキャップを外してください。

<背面>



E. DC IN コネクタ

F. HDMI コネクタ

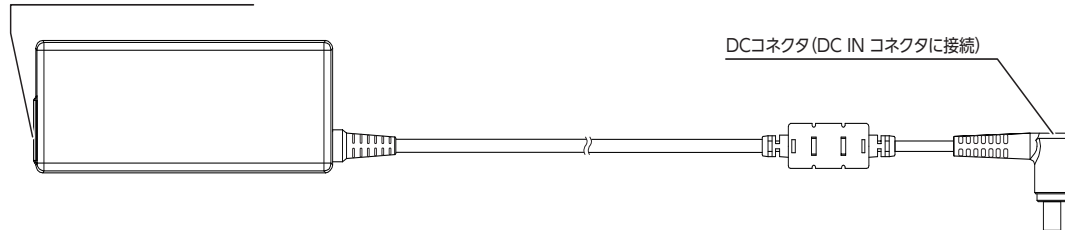
G. USB Type-C コネクタ

H. LAN コネクタ (2.5 GbE)

I. HDMI コネクタ

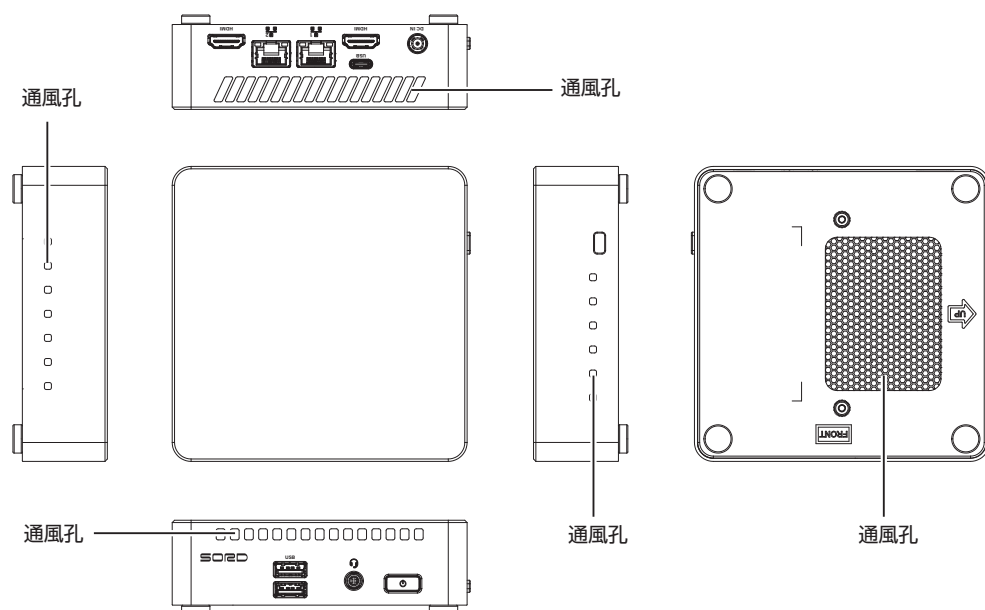
< ACアダプター>

電源コネクタ(電源コードを接続)



DCコネクタ(DC IN コネクタに接続)

<通風孔>



⚠ 注意

通風孔は本体を冷却するためのものです。通風を妨げるものを近づけたり載せたりすると、故障の原因となります。

また、壁などから十分な距離を置いて設置してください。

3. 設置環境について

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

(1) 本製品の仕様について

- ・本製品の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

(2) 本体の置き場所

- ・温度は5～40℃、湿度は30～80%の環境にする
- ・本製品は横置きで使用すること
縦置きで使用する場合は、安全のため必ず別売りの縦置きスタンドをご使用ください。
- ・急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- ・暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- ・腐食性の薬品のそばに置かない
- ・振動などのない安定した平らな場所に置く
- ・放熱のために、本体の周囲に適当なスペースを確保する
特に通風孔がある面は、少なくとも壁から10cm程度離すようにしてください。
- ・マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する

(3) 設置場所の照明

- ・日光や照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- ・明るい照明や日光が直接眼に入るような場所に本製品を置かない
- ・なるべく、やわらかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、照明スタンドを使用し、その際照明スタンドの光が画面に反射したり、直接目に入らない位置に置いてください。
- ・光が直接目に入らない位置に照明を配置する
画面に反射した照明が直接目に入らない位置に照明を配置してください。
- ・画面の明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節する

(4) 使用時の姿勢

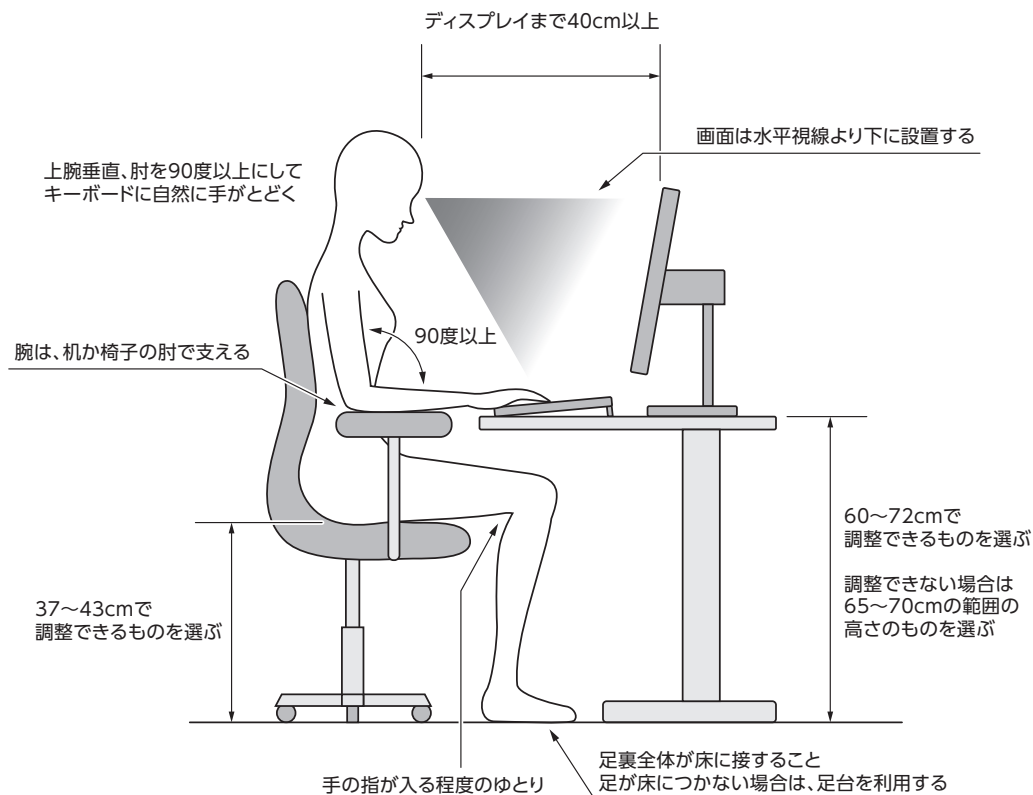
- ・ディスプレイの正面に、適当な高さで距離をおいて座る
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- ・キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- ・おしりよりも膝が少し高くなるように座る
- ・背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ・膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないでください。

(5) 健康のために気をつけたいこと

- ・リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- ・適度に姿勢を変える
- ・時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- ・長時間画面を見続けないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
- ・1度の休憩は短くてもよいので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。
- ・ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを画面が見やすいように調節する
詳しくは『ディスプレイに付属の取扱説明書』をご覧ください。
- ・ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する
表示画面がほこりなどで汚れると、表示内容が見えにくくなります。

●パソコンを使う時の姿勢

パソコンを使う時は、机や椅子を調整し適切な姿勢で作業してください。



お願い

キーボードやマウスを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。
身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

オプションの光学式マウスをご使用の場合、LED 発光部を直視しないでください。

4. 日常の取扱い・お手入れ

(1) 本製品の取扱い

- ケガや故障の原因となるため、本製品の内部には手を触れないでください。
- 携帯電話、無線機など電波を発生する機器を近くで使用した場合、動作に影響を与えることがあります。
その場合は、電波を発生する機器を本体から離してご使用ください。
- 本製品を使わないときは、電源を必ず切ってください。また、長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

(2) 日常のお手入れ

- 本製品の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。
- ベンジン、シンナーなどの可燃物および、エアゾールなどの可燃スプレーを使用しないでください。また、殺虫剤などをかけないようにしてください。変質・変形・変色や爆発・火災の原因となります。
- 梱包箱を保管しておくで輸送時などに使用でき便利です。
- 移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
- 電源コードの電源プラグを長期間コンセントに接続したままにすると、電源プラグやコンセントにほこりがたまる場合があります。そのまま使用すると、火災・感電のおそれがありますので定期的にほこりを拭き取ってください。
- キーボードのキーの下や隙間に入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
- マウスを長時間使用していると、ほこりなどが付着し、正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。定期的にほこりなどを取り除いてください。
- 本製品の通風孔や内部にほこりが付着すると、冷却性能の低下や故障の原因となるおそれがあります。
- ご使用の際は、通風孔をふさがないようにし、定期的にほこりを取り除いてください。

(3) 有寿命部品

本製品の内蔵電池、AC アダプター、CPU クーラー、SSD、マザーボードは有寿命部品であり、室温 25℃環境で通常使用した場合、寿命は 5 年を目安に設計されています（使用環境や保管状態により、5 年に満たない場合があります）。新しい部品への交換は有償にて行いますので、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。「保守サービス窓口」またはお買い上げの販売店にご相談ください。

(4) 修理・保守サービスについて

修理・保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。「保守サービス窓口」「7. お問い合わせ窓口について」を参照またはお買い上げの販売店にご相談ください。

5. 廃棄・譲渡について

本製品を廃棄するときは、次の要領にて処理してください。

（１）本製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

廃棄・回収をご希望の場合は専門の産業廃棄物処理業者に委託されるか、弊社「ソード製品に関するお問い合わせ窓口」（「7. お問い合わせ窓口について」を参照）にご相談ください。

廃棄物処理業者に本製品の廃棄を委託される場合は、地方自治体の許可業者に「産業廃棄物」として処理を委託してください。不法投棄は廃棄物処理法により業者はもとより排出事業者も処罰されます。

（２）本製品の廃棄・譲渡時のストレージ上のデータ消去に関するご注意

本製品に内蔵されているストレージには、お客様の重要なデータが記録されており、本製品を譲渡あるいは廃棄する際には、機密保持のためデータを消去する作業が必要となります。

データを消去するにあたり、OS やソフトウェア操作によるファイル消去行為は、一見データが消去されたように見えますが、データのファイル管理情報が変更されるだけであり、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。

このため、悪意のある人により、パソコンのストレージ上の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

本製品の廃棄・譲渡などを行う際に、ストレージ上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ストレージに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

消去するためには専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ストレージ上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ストレージ上のソフトウェア(OS など)を削除することなく本製品を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

6. 技術基準適合について

(1) 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の技術基準に基づくクラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

VCCI-B

(2) 瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(注)

交流無停電電源装置は、常時正弦波出力タイプのものを使用してください。

(3) 高調波対策について

本製品は、「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

(4) 無線機器に関する認証について

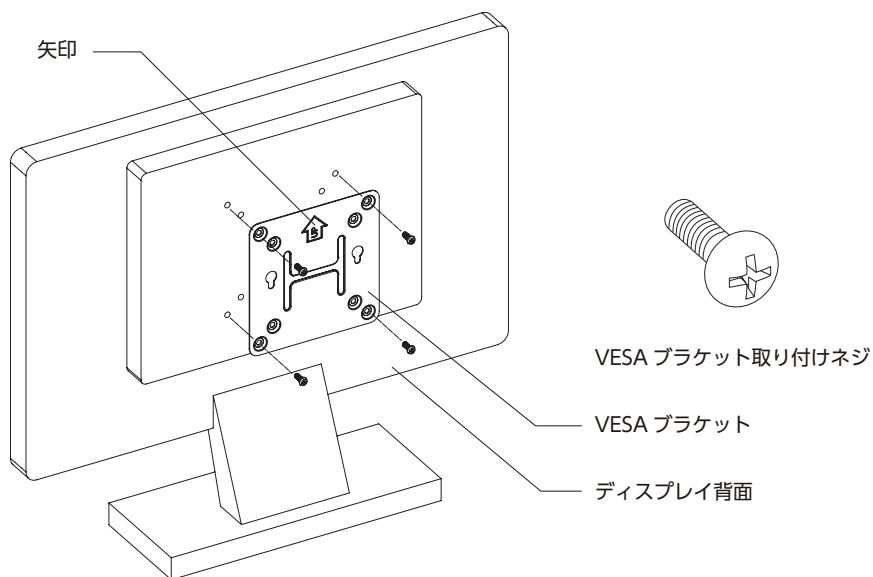
本製品に搭載されている Bluetooth 無線機能は、電波法に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を使用しています。技術基準適合証明に関する認証情報（技適マークおよび認証番号）は総務省の認証情報検索サイト等で確認することができます。

2

接続と電源の入れ方、切り方

1. VESA ブラケットの取り付け

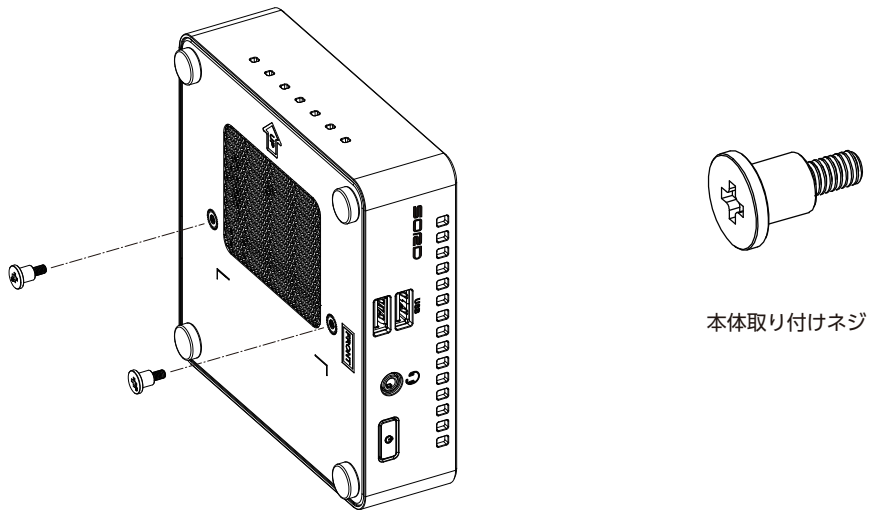
1. ディスプレイに VESA ブラケットを VESA ブラケット取り付けネジ（4箇所）で取り付けます。VESA ブラケットの矢印が上向きになるように取り付けてください。VESA ブラケットは VESA75、VESA100 に対応しています。



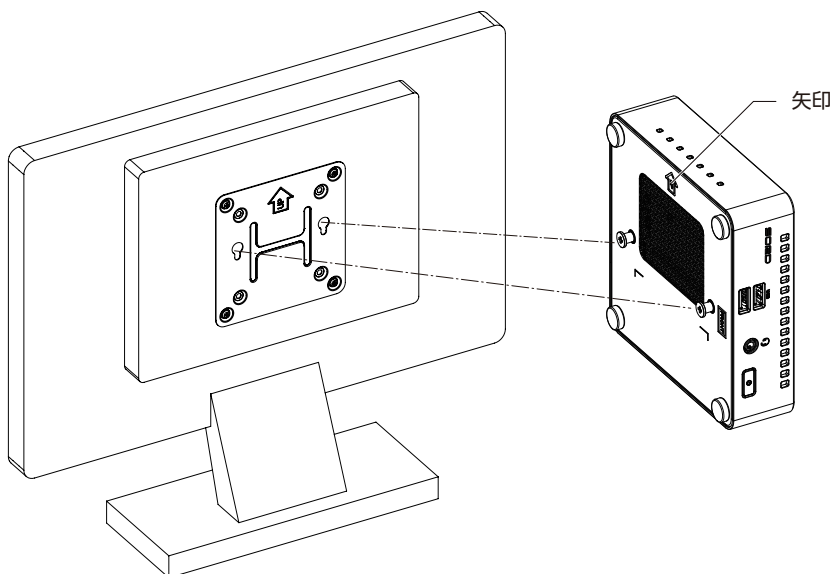
お願い

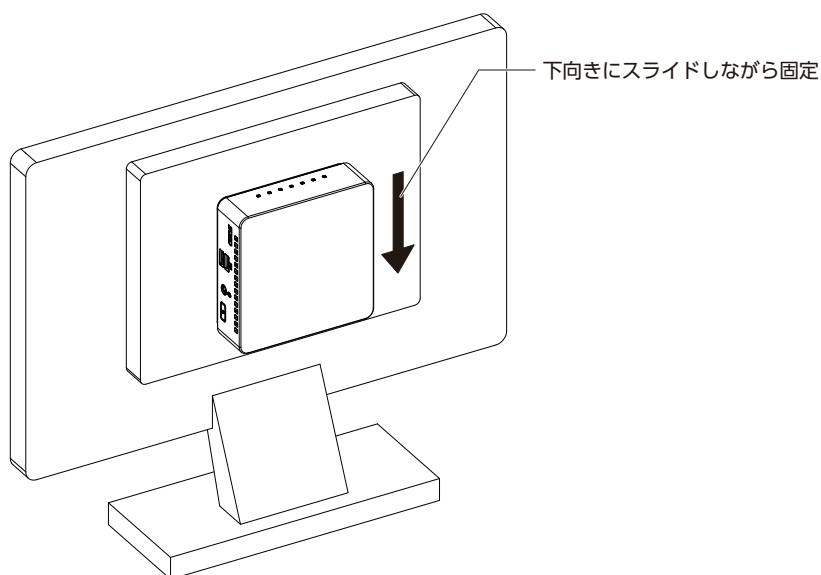
添付ネジを使用する際は、取り付けるモニターメーカーの製品仕様をご確認の上、ご使用ください。

2. 本製品に本体取り付けネジ（2箇所）を取り付けます。



3. 本製品底面の矢印が上になる向きで VESA ブラケットに本製品を取り付け後、下向きにスライドしながら固定します。





4. 本製品を取り付けた際は、上下、左右に軽く動かして確実に固定できているかを確認してください。

注意

- ・ VESA 規格（75/100mm）に準拠したディスプレイ以外には使用しないでください。
- ・ 同梱の VESA ブラケットは SR-c100 専用のマウント金具です。本製品以外の機器を取り付けしないでください。
- ・ VESA ブラケット取り付けの際はディスプレイの背面がフラットであることを確認してください。
- ・ ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- ・ 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- ・ 本製品を取り付けたままディスプレイを持ち運ばないでください。
- ・ 本製品取り付けによってディスプレイが安定しない場合は速やかに VESA ブラケットの使用を中止してください。
- ・ VESA ブラケット取り付けによって生じたディスプレイの損害について弊社はその責を負わないものとします。予めご了承ください。

2. 接続について

お願い

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

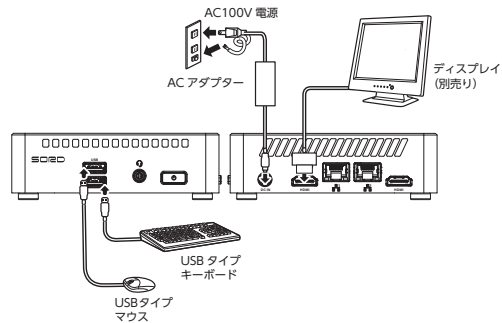
- 本製品および接続する機器の電源を切ってください。
- ケーブル類の取り付けや取り外しは、必ずコネクタやプラグを持って行ってください。
- コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合は、しっかりと固定してください。
- 次のものはセットアップが終了してから接続してください。

LAN ケーブル、プリンターなどの周辺機器

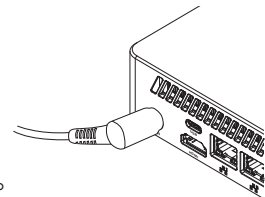
● 電源への接続

空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源をとらないでください。

定格電圧 AC100V (50Hz/60Hz)



1. 接続する周辺機器（ディスプレイ、プリンター等）の電源が切れていることを確認します。
2. 接続する周辺機器の電源コードのプラグを電源コンセントから抜いておきます。
接続する周辺機器のアース線がアース端子に接続されている事を確認します。
3. DC IN ジャックに DC コネクタを接続します。
4. 電源コードを AC アダプターの電源コネクタに差し込みます。
5. 電源コードのアース線をアース端子に接続します。
周辺機器の各ケーブル（ディスプレイケーブル、LAN ケーブル、USB 接続機器のケーブル等）を本製品に接続します。
6. 周辺機器の電源コードのプラグを電源コンセントに接続します。
7. 電源コードのプラグを電源コンセント（AC100V）に接続します。

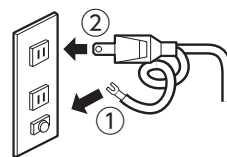


⚠ 警告

- 電源コードは付属のアース線つき 2 ピンコードを使用してください。
- 付属のコード以外を使用すると火災・感電の原因となります。
- アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておく、万が一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。

お願い

- 電源コードの接続は、最後に行ってください。
- 電源コードの接続は、①アース線、②プラグの順に行ってください。
取り外す場合は、取り付けと逆の順番（プラグ→アース線）で行ってください。
- コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードの上に重いものを載せないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
- 熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。



●ディスプレイ（別売り）への接続について

接続の際は『ディスプレイに付属の取扱説明書』をご覧くださいのうえ、作業を行ってください。

3. 電源の入れ方と切り方

ここでは、Windows のセットアップを終えたあと、電源を入れる方法について説明します。
省電力機能の設定方法については、各 OS の『お使いいただくにあたって』をご参照ください。
周辺機器を接続して使用する場合は、本体電源を入れる前に周辺機器を取り付けてください。

（１）電源の入れ方

1. プリンターやディスプレイなどの周辺装置の電源を入れます。
2. 本製品の電源ボタンを押す。

電源ランプ（白色のランプ）が点灯します。

（２）電源の切り方

本製品の電源を切るときは、OS のシャットダウン操作により電源を切ってください。




シャットダウン操作を行わず、電源ボタンにより電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。

なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けることで電源が切れます。その際、作成中のデータは消失する可能性があります。

1. アプリケーションが起動しているときは、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了してください。
2. OS のシャットダウン操作を行います。OS のシャットダウン操作を実施することにより、本体の電源が自動的に切れます。
3. プリンターやディスプレイなどの周辺機器の電源を切ります。

OS のシャットダウン操作について

・ Windows 11 の場合

- (1) 「スタート」ボタン () をクリックします。
- (2)  電源 ボタンをクリックします。
- (3)  シャットダウン ボタンをクリックします。

⚠ 注意

異常時の強制終了について

OS からの終了操作で終了できない場合、以下の方法で強制終了ができます。
強制終了した場合は故障やデータ消失の原因になります。

- ・ 電源ボタンを短く押す

OS のシャットダウン処理を強制的に開始します。

注) OS によりシャットダウン処理を行わない設定場合があります。

- ・ 電源ボタンを 4 秒以上押し続ける

OS の状態に関係なく、強制的に電源を切ります。

電源切断時のお願い

- ・ 電源を切った後、もう一度電源を入れる場合は、30 秒以上たってから入れてください。
30 秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- ・ 電源を切った後、本体を移動する場合は、30 秒以上たってから移動してください。
- ・ 電源を切った直後はファン等の駆動部分が完全に停止していません。電源を切った直後の移動は機器の故障の原因となります。

(3) 電源、ケーブルを外す順番

1. 本製品、ディスプレイ等接続されている周辺機器の電源が切れている事を確認します。
2. AC アダプターの電源コードのプラグ、ディスプレイ等の周辺機器の電源コードのプラグを電源コンセントから抜きます。(アース線はアース端子に接続したままです)
3. 本製品に接続されている各ケーブル (ディスプレイケーブル、LAN ケーブル、USB 接続機器のケーブル等) を本製品から取り外します。
4. 本体から DC コネクタを取り外します。
5. 電源コードのアース線をアース端子から取り外します。

1. 無線 LAN について

無線 LAN は、LAN ケーブルを使用せず電波を利用して通信を行うため、電波の届く範囲でネットワークへ接続することが可能です。

一方で、電波の特性上、使用環境やセキュリティ設定により通信品質や安全性に影響を受ける場合があります。

無線通信を行うため、本製品上部にアンテナを搭載しています。

使用上の注意

本製品の無線機能は屋内限定です。屋外では使用しないでください。

無線通信の性能を十分に発揮するため、次の点にご注意ください。

- ・無線 LAN アクセスポイントと本製品の間に、金属製の障害物を置かないでください。
- ・アンテナ周辺に、本や厚紙などの遮へい物を配置しないでください。
- ・アンテナ付近を金属製のケースなどで覆わないでください。
- ・アンテナ周辺にシールやラベルを貼り付けしないでください。

(1) 無線 LAN の接続方法

無線 LAN を接続するには、次の手順で操作してください。

1. 「スタート」 ボタンをクリックし、「設定」 ボタンをクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット」 を選択します。
3. Wi-Fi を「オン」 にします。
4. 「利用できるネットワークを表示」 をクリックします。
5. 表示されたネットワーク一覧から接続したいネットワーク名 (SSID) を選択します。
6. 「接続」 をクリックします。
7. セキュリティキー (パスワード) を入力します。
8. 「次へ」 をクリックします。
9. 「接続済み」 と表示されれば完了です。

※接続できない場合の確認事項

- ・Wi-Fi が「オフ」 になっていないか確認してください。
- ・正しい SSID を選択しているか確認してください。
- ・パスワードが正しいか確認してください。
- ・無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- ・一度 Wi-Fi をオフにし、再度オンにしてください。

(2) 無線 LAN のセキュリティに関するご注意

無線 LAN 通信では、アクセスポイントと本製品との間で暗号化を行い、通信内容の保護が図られています。

また、パスワード（セキュリティキー）による認証により、許可された機器のみがネットワークへ接続可能となります。

これらの機能により、第三者による盗聴や不正アクセスのリスクは低減されますが、完全な安全性を保証するものではありません。

公衆無線 LAN など不特定多数が利用するネットワークを使用する場合は、情報の取扱いに十分ご注意ください。

また、接続先が不明なネットワークや、身に覚えのないネットワークへの接続は行わないでください。

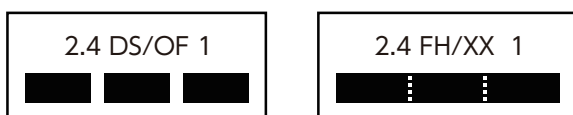
(3) 無線 LAN の仕様

本製品に搭載されている無線 LAN の仕様は次のとおりです。

Intel® Wi-Fi 6E AX210

項目	仕様	
無線LAN規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax準拠 (Wi-Fi 6E対応、802.11ax 無線LANインタフェース搭載)	
転送レート	IEEE 802.11b	1～11Mbps（自動切り替え）
	IEEE 802.11a/g	6～54Mbps（自動切り替え）
	IEEE 802.11n	最大300Mbps（HT20/40対応）
	IEEE 802.11ac	最大1733Mbps（VHT20/40/80/160対応）
	IEEE 802.11ax	最大2402Mbps（HE20/40/80/160対応）
セキュリティ	WPA2（AES） WPA3（SAE/AES） IEEE 802.1X（EAP-TLS/PEAP）	
使用周波数範囲	2.4GHz帯（2,400～2,483.5MHz） 5GHz帯（5,150～5,350MHz、5,470～5,725MHz） 6GHz帯（5.925～6.425GHz）※	
チャンネル数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.4GHz帯：1～13ch ・ 5GHz帯：W52(36 / 40 / 44 / 48ch)、W53(52 / 56 / 60 / 64ch)、W56(100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140 / 144ch) ・ 6GHz帯（5.925～6.425GHz）：最大24チャンネル（20MHz幅、日本仕様） 	

※ 6GHz 帯は日本国内において屋内利用に限定されています。屋外での使用はできません。



- ・本製品は、IEEE 802.11 準拠の無線 LAN 機能および Bluetooth ワイヤレステクノロジーを搭載しており、2.4GHz 帯の電波を使用します。
- ・この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局が運用されています。
- ・ご使用前に、周囲でこれらの無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ・本製品から有害な電波干渉が発生した場合は、使用周波数の変更または無線機能の使用を停止し、設置場所の変更などの対応を行ってください。
- ・なお、電波干渉に関してお困りの場合は、当社サービス窓口までお問い合わせください。

2. Bluetooth について

本製品には、Intel® Wi-Fi 6E AX210 無線モジュールおよび、アンテナを搭載しており、Bluetooth 機能を利用して Bluetooth 対応機器と無線接続することができます。

本製品の Bluetooth 機能は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。

安定した通信を行うために

Bluetooth の通信距離は使用環境により異なりますが、一般的な目安は以下のとおりです。

- ・見通しの良い環境：約 10m 程度

以下のような環境では通信距離が短くなる場合があります。

- ・壁や家具などの障害物がある場合
- ・電波干渉が多い場所
- ・周囲に 2.4GHz 帯の無線機器（Wi-Fi 機器、電子レンジなど）がある場合

(1) Bluetooth の接続 (ペアリング) 方法

Bluetooth を接続するには、次の手順で操作してください。

1. 接続する Bluetooth 機器の電源を入れてください。
2. Bluetooth 機器をペアリングモードにします。
※操作方法是各機器の取扱説明書をご確認ください。
3. 「スタート」 ボタンをクリックし、「設定」 ボタンをクリックします。
4. 「Bluetooth とデバイス」 を選択します。
5. Bluetooth を「オン」 にします。
6. 「デバイスの追加」 をクリックします。
7. 「Bluetooth」 を選択します。
8. 表示された一覧から接続したい機器名を選択します。
9. 「完了」 をクリックします。

(2) Bluetooth の接続の切断 (ペアリング解除) 方法

Bluetooth の接続を切断するには、次の手順で操作してください。

1. 「スタート」 ボタンをクリックし、「設定」 ボタンをクリックします。
2. 「Bluetooth とデバイス」 を選択します。
3. 「デバイス」 を選択します。
4. 対象の機器を選択します。
5. 「削除」 をクリックします。

※接続できない場合の確認事項

- ・ Bluetooth が「オフ」 になっていないか確認してください。
- ・ Bluetooth 機器がペアリングモードになっているか確認してください。
- ・ 他の機器と接続されていないか確認してください。
- ・ 一度対象機器を削除し、再度ペアリングを行ってください。

(3) 電波干渉について

本製品の Bluetooth 機能と無線 LAN はいずれも 2.4GHz 帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、その他の無線機器でも使用されています。

そのため、同時に使用した場合、通信速度の低下や接続の不安定化が発生することがあります。

また、同時に使用する Bluetooth 機器の台数が多い場合、通信負荷が増加し、動作に影響を与えることがあります。

通信に支障がある場合は、いずれか一方の機能の使用を停止し、動作をご確認ください。

本製品の Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器との接続および動作を保証するものではありません。使用する機器の対応状況や動作環境をご確認ください。

4

AC アダプターについて

1. AC アダプターの取扱注意点

⚠ 危険

- 同梱された AC アダプター、電源コードを必ず使用してください。
他機種の AC アダプターは使用できません。
同梱された AC アダプターは本製品専用です。
- 同梱された AC アダプターは、他の製品に使用しないでください。
火災・感電・破損のおそれがあります。
- 以下の様な場合はすぐに本製品の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 本体に割れ、変形等がある
 - 煙が出たり、異臭がしたりする
 - 異常な音がする
 - AC アダプターに水等が入りこんでしまった場合
 - AC アダプター本体が普段よりも異常に熱い場合
 - ケーブルが膨らんでいたり、傷ついている場合

異常が生じた際は同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。うえ、「保守サービス窓口」「7. お問い合わせ窓口について」を参照またはお買い上げの販売店にご相談ください。

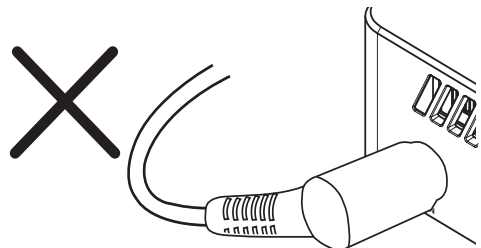
⚠ 警告

AC アダプターの放熱を妨げない様に設置をお願いします。

- AC アダプターに電源ケーブルや DC ケーブルを巻き付けないでください。
- 直射日光の当たる場所、ヒーター、ストーブ等、熱源の近くに設置しないでください。
- 布団・クッション・衣類等放熱を妨げる物を AC アダプターに、かけたりしないでください。
- 机や壁・ラックの間等、狭く放熱を妨げる場所に設置しないでください。
- 箱の中等、密閉された所に設置しないでください。
- 2 個以上の AC アダプターを重ねて設置しないでください。
火災・感電・破損のおそれがあります。

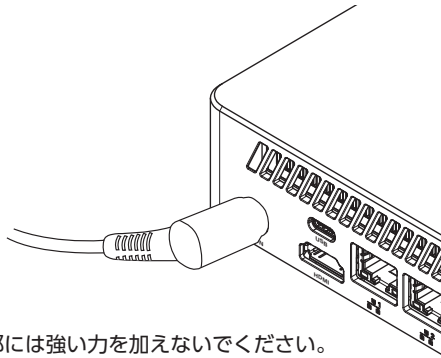
AC アダプターのケーブルに負荷を与えないでください。

- ケーブルに輪ができた状態や、ねじれた状態では使用しないでください。
- AC アダプターの放熱を妨げない様に設置をお願いします。
- AC アダプターの根元に無理な力を加えないでください。
- ケーブル等を無理に折り曲げないでください。
火災・感電・破損のおそれがあります。



⚠ 警告

DC IN ジャックを取扱うときは次の点を守ってください。



- 本製品の DC IN ジャック部には強い力を加えないでください。
これらを守らないと、やけど・発煙のおそれがあります。
- 本製品を移動する場合は、本体に接続している AC アダプターを本製品から取り外してください。本製品のコネクタ部分に無理な力が加わり、火災・感電・破損のおそれがあります。
- 通電中、AC アダプターの表面温度が高くなる場合があります。皮膚が触れ続けないようにしてください。
長時間触れ続けた場合、低温やけどの恐れがあります。

1. 内蔵電池

内蔵電池は時計および BIOS の設定内容を保持するためのものです。内蔵電池が寿命に達している場合 OS 起動時に時計が遅れていることがあります。

交換の際は同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。「保守サービス窓口」またはお買い上げの販売店にご相談ください。

危険

本製品に搭載されている内蔵電池には触らないでください。

誤って飲み込むと、窒息したり、化学やけど、粘膜組織の貫通など最悪の場合は死に至ることがあります。

2. BIOS の初期化（購入時の状態に戻す）

ハードウェアの増設や交換など、何らかの事情で本製品が起動しなくなった場合は BIOS の初期化を行う事で解決することがあります。

BIOS を操作する際は、有線キーボードをご使用ください。

1. パソコンを起動します。
2. 【F2】キー を押し続けます。
3. BIOS 画面が表示されます。

注) OS が起動してしまった場合は、再起動を行ってください。

注) 「Load Previous Values?」が表示された場合、「No」もしくは【Esc】キー を押してください。

4. キーボードの矢印キー（←）を 3 回押し「Save & Exit」画面を表示させ「Restore Defaults」を選択し【Enter】キー を押します。
5. キーボードの矢印キー（←、→）を使用して「Yes」を選択し【Enter】キー を押します。
6. キーボードの矢印キー（↑、↓）を使用して「Save Changes and Reset」を選択し【Enter】キーを押します。
7. キーボードの矢印キー（←、→）を使用して「Yes」を選択し【Enter】キー を押します。
8. パソコンが再起動されます。以上で BIOS の初期化は完了です。

6

困ったときの Q&A

実際に本製品を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかったり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、「故障だ！」とあわてる前に、この章をお読みください。

各 OS のコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は各 OS の取扱説明書を参照してください。

アプリケーションソフトウェアをご使用の場合は、各ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

電源が入らない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
本体の電源が入らない	電源コードが電源コンセントに接続されていますか？	電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。 ▶▶▶「電源の入れ方」
	電源ランプは点灯していますか？	正面の電源ボタンを押してください。
	電源コンセントに電源が通じていますか？	電源の通じているコンセントに差ししてください。

電源が切れない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
本体の電源が切れない	電源ランプが点滅していませんか？	省電力モードから復帰させてから、正しい方法で電源を切ってください。 ▶▶▶「電源の切り方」
	マウスやキーボードからの入力に反応がない。	ドライブアクセスランプが消灯していることを確認して、電源ボタンを 4 秒以上押し続け、電源を切ってください。 (保存されていないデータは消失します)


エラーメッセージが表示される

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
起動時にエラーメッセージが表示される	電源を切って、またすぐに入れましたか？	電源を切ってから 30 秒以上待って電源を入れてください。
アプリケーションソフト使用時エラーメッセージが表示される		各ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

画面の表示がおかしい

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
画面に何も映らない	本体およびディスプレイの電源は入っていますか？	電源を入れてください。 🔌「電源の入れ方」
	ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？	電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？	ゆるみがないように正しく接続してください。 🔌「接続について」
	USB 対応機器は接続していますか？	接続されている USB 対応機器によっては、USB 対応機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入ると、本製品が起動しない場合があります。本製品の電源を入れてから USB 対応機器の電源を入れてください。
	省電力モードになっていませんか？	省電力機能が働いている場合があります。マウスをクリックしたり、電源スイッチを押してください。
画面表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置が異常である	ディスプレイの輝度、コントラストの調整は正しくできていますか？	輝度、コントラストを正しく調整してください。詳しくは、接続するディスプレイの取扱説明書をお読みください。
	ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？	ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバーとユーティリティーの再インストールを行ってください。

キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
キーボードから入力できない	ケーブルは正しく接続されていますか？	ゆるみがないように正しく接続してください。 🔌「接続について」
どのキーを押しても反応しない		[Ctrl] キーと [Alt] キーを押したまま、[Del] キーを押してください。 反応がない場合は、電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、しばらくたってから電源を入れなおしてください。 (保存されていないデータは消失します)
半角の「～」（チルダ）が入力できない		[Shift] キーと  キーを押してください。
希望の文字が入力できない		キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の取扱説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

無線機能が正常に動作しない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
通信が途切れる 通信速度が遅い	アクセスポイントからの距離が遠くないですか？	アクセスポイントに近づけてください。
	障害物（壁・金属）がありませんか？	障害物の少ない場所で使用してください。
	同じ SSID のアクセスポイントが複数ありませんか？	必要に応じてアクセスポイントを再起動してください。 無線 LAN 設定の「Roaming Aggressiveness」を調整してください。
Bluetooth 機器が接続できない	機内モードが有効になっていませんか？	機内モードを一度「オン」にし、時間をおいてから「オフ」に戻してください。
	スリープ復帰直後に操作していませんか？	スリープ復帰後はしばらく待ってから操作してください。
	Bluetooth 設定が無効（オフ）になっていませんか？	Bluetooth 設定を有効にしてください。

マウスの操作ができない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
マウスを操作しても反応しない	ケーブルは正しく接続されていますか？	ゆるみがないように正しく接続してください。 ▶「接続について」
マウスの反応がおかしい	次のような場所で使用していませんか？ ・ 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、プラスチックなど） ・ 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど） ・ 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）	明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。 光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。
	平らでない場所で使用していませんか？	平らな場所で使用してください。
	マウスの下にゴミなどはありませんか？	ゴミを取り除いてください。

ストレージが使えない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
SSD から起動しない	OS が SSD にインストールされていますか？	OS を SSD にインストールしてください。
データの読み / 書きができない		故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。 のうえ、「保守サービス窓口」[7. お問い合わせ窓口について]を参照へご連絡ください。

USB 対応機器が使えない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
USB 対応機器が使えない	ケーブルは正しく接続されていますか？	ケーブルが本製品の USB コネクタに正しく接続されているかどうか確認してください。
	OS は USB 対応機器を認識していますか？	何らかの原因で、OS が正しく USB 対応機器を認識していない可能性があります。OS を再起動してください。
	ドライバーは正しくインストールされていますか？	ドライバーをインストールしてください。


サウンドが鳴らない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない	ボリュームが下がっていませんか？	OS によるサウンド設定で音量を確認してください。
	外部スピーカーが接続されていますか？	LINE OUT 端子に外部スピーカー（別売り）が正しく接続されているか確認してください。

アプリケーションソフトが使えない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
アプリケーションソフトが思うように動かない	システム構成は正しく設定されていますか？	ソフトウェアの取扱説明書を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。
アプリケーションソフトが動かない	そのソフトウェアは OS に対応していますか？	システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。 お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

印刷できない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
プリンターが動作しない	プリンターの電源は入っていますか？	本体の電源をいったん切り、プリンター、本体の順で電源を入れなおしてください。
	接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない	アプリケーションソフト上でのプリンターの設定条件は、ご使用のプリンターの設定になっていますか？	アプリケーションソフト上または OS によるプリンターの設定で正しく設定しなおしてください。  『アプリケーションソフトに付属の説明書』

テレビ、ラジオに障害が出る

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
テレビ、ラジオの調子がおかしい	テレビ、ラジオの近くに本体やディスプレイを置いていませんか？	テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
		テレビ、ラジオに対する本体やディスプレイの方向を変えてください。
		テレビ、ラジオから離してください。
		テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使ってください。
		コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルターを入れてください。
		受信機に屋外アンテナを使ってください。平衡フィーダーを同軸ケーブルに替えてください。

省電力機能が正常に動作しない

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
省電力機能が正常に動作しない	市販のUSB 対応機器を使用していますか？	USB 対応機器の種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。 また、OS の省電力機能を使用しないでください。

異常や故障の場合

Q	A	
症状	確認事項	対処方法
異常な臭いや過熱に気がついた		電源を切り、電源コードを抜いてください。 次のところに連絡してください。 ・お買い求めの販売店。それでもわからない場合は、「保守サービス窓口」（機器同梱の『保守サービスのご案内』参照）にご連絡ください。 ご連絡の際には次のことをお知らせください。 ・使用している機器の名称 ・ご購入年月日 ・現在の状態 できるだけ詳細にご連絡ください。

どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからないときは、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、「保守サービス窓口」「7. お問い合わせ窓口について」を参照またはお買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- 使用している機器の名称
- ご購入年月日
- 現在の状態

お問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせについては、以下にあるそれぞれの窓口にご連絡してください。

※電話番号はおまちがえのないよう、ご確認の上おかけください。

【保守サービス窓口】

株式会社ソード 保守サービス担当

〒 261-8580 千葉県美浜区真砂 5-20-7

Tel 043-278-8291

【ソード製品に関するお問い合わせ窓口】

株式会社ソード 各営業担当

〒 261-8580 千葉県美浜区真砂 5-20-7

Tel 043-279-2676

-
- 本書の内容は、品質向上のため予告なく変更する場合があります。
 - 本書に記載された情報の利用に起因して発生した第三者の知的財産権（特許権等）その他の権利侵害について、当社は一切の責任を負いかねます。
 - 本書の全部または一部について、当社の許可なく転載、複製、配布することを禁止します。

SR-c100 シリーズ 取扱説明書
2026 年 6 月 第 1 版発行 P87110051A

発行元 株式会社ソード

株式会社 ソード

本社：〒261-8580 千葉県千葉市美浜区真砂 5-20-7
<https://www.sord.co.jp/>

P87110051A